



# 東小だより

学校教育目標 「心豊かに自立する子を育てる」  
東小マナー ～え・ぼ・し・い・わ～

1月号

令和4年1月7日

茅ヶ崎市立東海岸小学校  
校長 山井美奈子

## 2022年 新しい年を迎えました！！

きれいな初日の出を拝み、良い年になりますように！と願い、新しい年を迎えました。「こんな年にしたい」とか「なりたい自分」を思い浮かべて、1年間の目標や計画を立てた人もいます。目標を決め、具体的に何をするか、何をしたいか計画を立て、明確にすることが達成への道の一步となります。年の始まりを良い機会にしてほしいと思います。



学校生活を送る中で、いろいろな出来事が起こります。うれしいことや楽しいこと、そして、困ったり努力が必要であったりすることもあります。様々な経験を重ねて、子どもたちは学んでいきます。子どもたちの学びを支え、時には見守り、一人一人の健やかな成長を願い、誠実に子どもたちと向き合っていきたいと思います。子どもたちが笑顔で安心して過ごせるように、教職員一同力を合わせ、今年も保護者・地域の皆様との連携を深められるよう努めてまいります。ご心配なことやご相談等ございましたら、いつでもご連絡ください。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

### 【東小マナー「え・ぼ・し・い・わ」について】

冬休み前の放送朝会で子どもたちに東小マナー「え・ぼ・し・い・わ」について話しました。東海岸小学校をもっとよくしようとお兄さんお姉さんたちが考え、受け継がれている言葉です。それぞれの意味について、「え」から順番に言葉をそえ、今回は「ぼ」を中心に話しました。友達と仲良くなれなくなってしまうこと、暴力で自分の気持ちは伝えられないし、問題は解決できないこと、その方法は間違っていること、そして、言葉の暴力についてもふれました。心無い言葉や乱暴な言葉、そしてからかいも相手の心を傷つけます。周りで聞いている人が心を痛めることもあります。相手の表情や相手の気持ちを考え、気付くことができる人になってほしいです。行動も言葉もいずれ自分自身に帰ってきます。相手はもちろん、自分自身も幸せにはなりません。でも、学校生活において、暴力を見かけることがあります。そして、暴力は大きないじめにつながることで、いじめはどんな理由があっても行ってはいけないことを伝えました。

子どもたちは失敗しますし、不適切な言動を行うことがあります。その時に、それが間違っていると気づくことができれば、認めることができれば、学ぶことができます。よりよい関わり方や正しい判断ができるようになります。「いじめは、どの学校の、どの年齢の児童・生徒にも起こり得る問題である」という認識を持ち、私たちは、そのいじめの種を見逃さないこと、ひとつひとつ拾っていくことが必要です。子どもたちを見守る私たちは「いじめは絶対に行ってはならない」という共通意識を持って子どもたちと向き合っていきます。ご家庭や地域の皆様、多くの方のご協力をいただきながら、早期発見・早期対応に力を尽くしてまいります。

今年度、子どもたちに大切にしてほしいこととして次の3つのこと

- ①「あいさつをする」 ②「自分の命は・・・自分で守る」 ③「本を読む」

を繰り返し伝えてきました。これらに加え、改めていじめ防止の取り組みに力を入れていきます。

東小マナー  
「え・ぼ・し・い・わ」  
をおぼえましょう。



「え」 えがおであいさつ  
「ぼ」 ぼうりよくしない  
「し」 しんせつにする  
「い」 いろいろなものをたいせつに  
「わ」 わちあう



【創立時の校歌にまつわる想いを受け継いで】

加山雄三さんの校歌制定時のメッセージと、その時に寄贈いただいた校歌の音源を冬休み明け放送朝会で子どもたちに紹介しました。(学校だより 12月号に関連する内容を記載しています)

### 昭和57年3月校歌制定時の加山雄三さんからのメッセージ

生徒のみなさんこんにちは、加山雄三です。

この度、青木校長先生から、「学校の校歌を作ってください」というお話がありまして、3か月間くらい、いろいろ、どんな歌をつくったらいいか、悩みまして、そしてやっと出来上がって、今日、みなさんにお披露目する、ということだそうですが、僕が参加できないのはとても残念です。といいますのは、3月の1日から11日まで、ギリシャというところに僕は行っております。そのために、この会場に出席できないのが、とても残念ですけれども、一生懸命校歌をつくりました。

僕も茅ヶ崎の小学校、そして中学校を卒業して、それから慶応へと進んで行ったので、いわば僕の少年時代を過ごした茅ヶ崎には、とても愛着がありますし、素晴らしいところだと思っています。ですから、心を込めて作った校歌です。どうかみなさんで、大事に歌い続けて、そして歌いついでいただきたいと思います。きっとみなさんの心に、何かあたたかいものを感じてもらえると思います。卒業してからでも、この校歌を歌うことによって、その小学校時代を思い出して、「ああいう友達がいたなあ」というような時が必ずくると思います。音楽というものは、とても不思議なことを、与えてくれるものです。ある時流行った歌を、あとでもって聴くと、必ずその流行っていた時を思い出します。そのように一番大事な、学校としてのスタートである小学校時代に、校歌を、しかも、みなさんにもし気にいっていただければ、きっといい思い出となると思いますし、卒業されていく6年生は、卒業の間際にしか歌えなかったかもしれません。でも、必ずいい思い出になると思います。それから、もちろん1年生、2年生、これから何かという校歌を歌う時がたくさんあると思います。きっといい思い出になると思いますので、どうかみなさんで大事にこの歌を、愛してやっていただきたいと思います。

それから、僕は今東京に住んでいますけれども、本当に茅ヶ崎というところは、環境には恵まれていると思います。目の前に海があって、そして東京よりも2~3度温度が高い。そして、潮風をいっぱい吸い込んで、一生懸命勉強したり、一生懸命運動をして、そして立派な人間になってもらいたいと、そういう気持ちを含めて、この校歌を作りました。どうかみなさんで大事にしてやってください。それではありがとうございました。

#### ☆教職員の紹介☆

小嶋陽太教諭：1月中旬より6年生の音楽を担当します。

※お知らせ

2年3組担任の衛藤由美教諭が体調を崩し、お休みをいただいております。つきましては、1月7日より、平林裕子教諭が2年3組の担任となり、学級運営を行ってまいります。ご承知おきください。